

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

埼玉県知事  
大野 元裕 殿



提出者

住所 埼玉県東松山市松本町1-2-6  
氏名 中里建設株式会社  
代表取締役 中里 一夫  
電話番号 0493-22-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中里建設株式会社
事業場の所在地	埼玉県東松山市松本町1-2-6
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業 総合工事業
②事業の規模	資本金 10,000万円 建設工事請負実績 98件 250,000万円
③従業員数	40名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	小規模作業所 本社資材置き場→産業廃棄物→産廃処理業者 (分別して資材置き場のコンテナに搬出) 大規模作業所 産業廃棄物→産廃処理業者 (分別してコンテナに搬出)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長 → 工事部長 → 産業廃棄物処理責任者 → 各作業所長

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排 出 量	2102.67 t	—
	（これまでに実施した取組） ①発注時に簡易梱包指示 ②パレット等の返却 ③工場製作を推進し現場での廃棄物抑制に努める ④分別収集を実施した		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排 出 量	1828.00 t	—
	（今後実施する予定の取組） ①排出量を前年実績対比率-13.06%とする。 ②発注時に簡易梱包指示の継続 ③パレット等の返却の継続 ④工場製作を推進し現場での廃棄物抑制に努める事の継続 ⑤分別収集の継続		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず、コンクリートがら、アスコンがら、廃プラスチック ガラス・陶磁器、石膏ボード、
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず、コンクリートがら、アスコンがら、廃プラスチック ガラス・陶磁器、石膏ボード、

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	—
	(これまでに実施した取組) 建替工事で発生するコンクリートがらを地業工事で再利用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	—
	(今後実施する予定の取組) 建替工事で発生するコンクリートがらを地業工事で再利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	—
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	2102.67 t	—
	優良認定処理業者への処理委託量	222.72 t	—
	再生利用業者への処理委託量	1874.27 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	—
	(これまでに実施した取組) ①簡易梱包の指示 ②パレット等の返却 ③工場製作を推進し現場での廃棄物減量 ④分別収集の徹底		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	1828.00t	—
	優良認定処理業者への 処理委託量	100.00t	—
	再生利用業者への 処理委託量	1500.00t	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	—
	(今後実施する予定の取組) ①簡易梱包の指示 ②パレット等の返却 ③工場製作を推進し現場での廃棄物減量 ④分別収集の徹底		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和4年度 産業廃棄物排出量実績表

2023年6月30日

集計期間：2022年4月1日～2023年3月31日

集計エリア：埼玉 内の中核市を除く市町村

(単位：t)

廃棄物の種類	前年度 排出量	今年度 目標値	① 排出量	②+⑧ 再生利用	⑤ 熱回収	⑦ 中間処理	③+⑨ 埋立処分又は 海洋投入処分	⑩ 全処理委託量	⑪ 優良業者処理	⑫ 再生利用 業者処理	⑬ 認定熱回収 業者処理	⑭ 認定熱回収 業者以外の 業者処理	目標値対比 増減量	新年度 目標値
管理型混合廃棄物	54.60	50.00	55.06	0.00	0.00	0.00	0.00	55.06	51.48	0.00	0.00	0.00	5.06	50.00
木くず	103.37	100.00	81.17	0.00	0.00	0.00	0.00	81.17	2.20	78.97	0.00	0.00	▲ 18.83	100.00
その他がれき類	26.28	20.00	26.54	0.00	0.00	0.00	0.00	26.54	20.72	5.82	0.00	0.00	6.54	25.00
コンクリートがら	437.46	430.00	323.57	0.00	0.00	0.00	0.00	323.57	24.42	299.15	0.00	0.00	▲ 106.43	400.00
ガラス・陶器くず	14.00	10.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	▲ 9.00	5.00
廃プラスチック	8.94	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 7.00	7.00
廃石膏ボード	30.24	25.00	8.25	0.00	0.00	0.00	0.00	8.25	8.10	0.15	0.00	0.00	▲ 16.75	20.00
建設汚泥	101.99	100.00	843.05	0.00	0.00	0.00	0.00	843.05	115.80	727.25	0.00	0.00	743.05	500.00
紙くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
アスコンがら	506.00	500.00	754.55	0.00	0.00	0.00	0.00	754.55	0.00	754.55	0.00	0.00	254.55	700.00
繊維くず	0.00	2.00	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.48	0.00	0.48	0.00	0.00	▲ 1.52	2.00
金属くず	10.18	10.00	6.90	0.00	0.00	0.00	0.00	6.90	0.00	6.90	0.00	0.00	▲ 3.10	10.00
廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
石綿含有建材	13.80	10.00	2.10	0.00	0.00	0.00	0.00	2.10	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 7.90	9.00
水銀使用製品産業廃棄物	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
安定型混合廃棄物	1.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1308.69	1264.00	2102.67	0.00	0.00	0.00	0.00	2102.67	222.72	1874.27	0.00	0.00	838.67	1828.00

結果：今年度の前年対比削減率の -3.41% -44.69t -44.69t の削減目標に対して 66.35% 838.67t の増加となり、最終的な削減率は 60.67% 793.98t となった。

※新年度目標の前年対比削減率は、 -13.06% (274.67t) の削減目標とし、目標数値は、 1828.00t とする。

中里建設株式会社